

地域計画(大東原地区:大字奈留・大平)



地域計画

策定年月日	令和 年 月 日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	串間市 45207
地域名 (地域内農業集落名)	大東原地区(大字奈留・大平) (揚原・上園田・下園田・新町・小山・徳山・井牟田・市ノ瀬)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	90.96 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	90.09 ha
② 田の面積	0.00 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	90.96 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	8.78 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	32.58 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	35.52 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	30.06 ha
(備考)遊休農地面積0.00ha(うち1号遊休農地0.00ha、2号遊休農地0.00ha)	
⑤は、地区内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

大東原地区(大字奈留・大平)は串間市中心部から北へ約4kmに位置し、畑において食用甘藷、ごぼう、葉たばこ、茶、飼料作物等の作付が行われているが、鳥獣被害の増加、サツマイモ基腐病の被害拡大などが大きな問題となっている。また、担い手については認定農業者(44名)、認定新規就農者(2名)が確保できているが、10年後には担い手が減少することが懸念される。

【地域の基礎的データ】

農業者:58人(うち50歳代以下26人)、組織経営体:4法人

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

大東原地区(大字奈留・大平)には、地区内の農地の保全を目的として設立した大東原管理組合が存在しており、この地域組織が中心となって、担い手への農地集積及びその保全に取り組む。

また、大東原地区(大字奈留・大平)では、高収益作物として食用甘藷、ごぼう等の作付けが行われているが、長引く「サツマイモ基腐病」の影響により食用甘藷の作付面積が減少している状況にある。その対応策として①持ち込まない(種芋の選別、苗床の消毒等) ②増やさない(輪作、排水対策等) ③残さない(収穫残渣の持ち出し等)を徹底し、優良産地として維持・発展を図るとともに、収益性の高い作物(特に土地利用型作物)について導入を検討していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理事業の活用による担い手への農地集積・集約を基本としつつ、担い手の農作業に支障のない範囲で多様な経営体へ農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	58 %	将来の目標とする集積率	85 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農用地の団地化(集約化)については、大東原管理組合が中心となって担い手への農地集積・集約を進め、団地面積の増加を目指す。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用し、認定農業者や集落営農法人等の担い手を中心に農地の集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地については、所有者の意向を踏まえた上で農地中間管理機構に貸し付けし、その農地を担い手に集積・集約していく。
(3) 基盤整備事業への取組
大東原地区(大字奈留・大平)については、スマート農業を効率的に進めるための農地の大区画化のほか、排水対策、農道整備が必要であることから、国・県補助事業の活用を検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
関係機関・団体と連携を図りつつ、地区内の多様な経営体が農業経営を展開できるよう、大東原管理組合がサポートを行う。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地区内担い手による作業受託(食用甘藷のドローン防除等)を進め、農作業の効率化等を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害防止対策については、電気柵の設置で被害防止を図るとともに、串間市猟友会との連携による駆除を進める。
- ②③④地区内で有機農業、スマート農業、海外輸出に関する研修を行いながら、必要に応じて実践していく。
- ⑤農地の有効活用を図るため、農地の大区画化及び排水対策、農道整備を検討していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農	甘藷	2.00 ha	ha	甘藷	10.48 ha	ha	A	
2	利用者	甘藷	1.02 ha	ha	甘藷	0.43 ha	ha	B	
3	認農	甘藷	0.38 ha	ha	甘藷	0.65 ha	ha	C	
4	利用者	管理	0.33 ha	ha	管理	0.33 ha	ha	D	
5	認農	甘藷、ごぼう	1.33 ha	ha	甘藷、ごぼう	4.71 ha	ha	E	
6	認農	甘藷、ごぼう	1.27 ha	ha	甘藷、ごぼう	1.90 ha	ha	F	
7	認農	飼料、繁殖牛	2.52 ha	ha	飼料、繁殖牛	5.74 ha	ha	G	
8	認農	飼料、繁殖牛	0.93 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.93 ha	ha	H	
9	認農	甘藷、飼料、繁殖牛	1.31 ha	ha	甘藷、飼料、繁殖牛	3.00 ha	ha	I	
10	認農	甘藷	0.75 ha	ha	甘藷	0.75 ha	ha	J	
11	認農	飼料、乳用牛	0.31 ha	ha	飼料、乳用牛	0.31 ha	ha	K	
12	認農	飼料	1.29 ha	ha	飼料	1.22 ha	ha	L	
13	認農	甘藷	5.99 ha	ha	甘藷	3.80 ha	ha	M	
14	認農	甘藷	0.66 ha	ha	甘藷	0.66 ha	ha	N	
15	利用者	甘藷	0.64 ha	ha	甘藷	0.64 ha	ha	O	
16	認農	甘藷	3.18 ha	ha	甘藷	3.18 ha	ha	P	
17	認農	茶	2.09 ha	ha	—	0.00 ha	ha	Q	
18	認農	茶	0.04 ha	ha	—	0.00 ha	ha	R	
19	認農	甘藷	0.55 ha	ha	甘藷	0.94 ha	ha	S	
20	認農	甘藷	0.72 ha	ha	甘藷	0.72 ha	ha	T	
21	利用者	甘藷	1.42 ha	ha	甘藷	0.22 ha	ha	U	
22	利用者	甘藷	0.62 ha	ha	—	0.00 ha	ha	V	
23	利用者	甘藷	0.59 ha	ha	甘藷	0.40 ha	ha	W	
24	認農	飼料、繁殖牛	0.50 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.50 ha	ha	X	
25	利用者	甘藷	1.17 ha	ha	甘藷	1.17 ha	ha	Y	
26	認農	飼料、繁殖牛	1.03 ha	ha	飼料、繁殖牛	1.15 ha	ha	Z	
27	認農	甘藷	0.12 ha	ha	甘藷	0.12 ha	ha	AA	
28	認農	甘藷	0.35 ha	ha	甘藷	0.35 ha	ha	AB	
29	利用者	甘藷	0.84 ha	ha	甘藷	0.55 ha	ha	AC	
30	認農	甘藷	1.77 ha	ha	甘藷	2.16 ha	ha	AD	
31	利用者	甘藷	0.42 ha	ha	甘藷	1.82 ha	ha	AE	
32	認農	飼料、乳用牛	0.12 ha	ha	飼料、乳用牛	0.12 ha	ha	AF	共同
33	認農	甘藷	1.17 ha	ha	甘藷	1.17 ha	ha	AG	
34	利用者	甘藷	0.38 ha	ha	甘藷	0.28 ha	ha	AH	
35	認農	甘藷	1.19 ha	ha	甘藷	1.39 ha	ha	AI	
36	認農	甘藷	4.43 ha	ha	甘藷	17.00 ha	ha	AJ	
37	認農	飼料、繁殖牛	0.29 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.29 ha	ha	AK	
38	認農	甘藷	1.47 ha	ha	甘藷	1.47 ha	ha	AL	
39	認就	飼料、繁殖牛	0.45 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.45 ha	ha	AM	
40	認農	甘藷	2.19 ha	ha	甘藷	1.16 ha	ha	AN	
41	認農	甘藷	0.23 ha	ha	甘藷	0.23 ha	ha	AO	
42	認農	甘藷	0.23 ha	ha	甘藷	0.05 ha	ha	AP	
43	認農	飼料	0.45 ha	ha	—	0.00 ha	ha	AQ	

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
44	利用者	ごぼう	1.79 ha	ha	ごぼう	1.84 ha	ha	AR	
45	認農	茶、施設きんかん、 ベビーハンズ	5.89 ha	ha	茶、施設きんかん、 ベビーハンズ	4.70 ha	ha	AS	
46	利用者	甘藷、飼料、繁殖牛	1.24 ha	ha	甘藷、飼料、繁殖牛	2.22 ha	ha	AT	
47	認農	甘藷	0.52 ha	ha	甘藷	0.52 ha	ha	AU	
48	認農	甘藷	0.60 ha	ha	—	0.00 ha	ha	AV	
49	利用者	飼料、繁殖牛	0.41 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.41 ha	ha	AW	
50	認農	甘藷	0.18 ha	ha	甘藷	0.18 ha	ha	AX	
51	認農	甘藷	0.35 ha	ha	甘藷	0.35 ha	ha	AY	
52	認農	飼料、乳用牛	1.73 ha	ha	飼料、乳用牛	3.08 ha	ha	AZ	
53	認農	甘藷	1.28 ha	ha	甘藷	1.28 ha	ha	BA	
54	利用者	甘藷	0.38 ha	ha	甘藷	0.38 ha	ha	BB	
55	認農	甘藷	0.81 ha	ha	甘藷	0.81 ha	ha	BC	
56	認農	甘藷	0.63 ha	ha	甘藷	0.70 ha	ha	BD	
57	利用者	甘藷	2.17 ha	ha	甘藷	0.43 ha	ha	BE	
58	認就	飼料、繁殖牛	1.07 ha	ha	飼料、繁殖牛	5.44 ha	ha	BF	
59	利用者	甘藷	1.66 ha	ha	甘藷	1.66 ha	ha	BG	
60	認農	飼料、肥育牛、繁殖 牛	0.65 ha	ha	飼料、肥育牛、繁殖 牛	3.00 ha	ha	BH	
61	認農	飼料、繁殖牛	1.00 ha	ha	飼料、繁殖牛	10.13 ha	ha	BI	
62	認農	甘藷	0.59 ha	ha	甘藷	0.59 ha	ha	BJ	
			71.69 ha	0.00 ha		110.16 ha	0.00 ha	BK	

地域計画(古竹地区)



凡例	
農業上の利用が行われる区域	
古竹公民館	

地域計画

策定年月日	令和 年 月 日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	串間市 45207
地域名 (地域内農業集落名)	古竹地区 (古竹)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	20.26 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	5.64 ha
② 田の面積	5.64 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.00 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.40 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	3.85 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	3.63 ha
(備考)遊休農地面積 0.00ha(うち1号遊休農地0.00ha、2号遊休農地0.00ha) ⑤は、地区内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

古竹地区は、串間市中心部から北西へ約3kmに位置し、水田において早期水稻、飼料作物の作付が行われている。しかしながら、農地は小区画、農道は狭小・老朽化と耕作条件が厳しく、更には鳥獣被害の増加が大きな問題となっている。また、担い手については認定農業者(4名)が確保できているが、10年後には担い手が減少することが懸念される。

【地域の基礎的データ】
農業者:12人(うち50歳代以下2人)、組織経営体:なし

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

古竹地区には、多面的機能を有する農地を維持するために設立した「古竹出草津集落(中山間地域等直接支払制度)」が存在しており、この協定集落が中心となって担い手への農地集積や電気柵の共同設置を実施していく。また、農地の大区画化、農道・水路の整備について検討を行っていく。

現在、地区内では早期水稻及び飼料作物の作付けが行われているが、今後は、収益性の高い作物(特に土地利用型作物)の導入を検討していく。

また、地区内の農地を維持していくためには担い手の確保が重要となってくることから、担い手の経営規模拡大を推進するとともに地区内有志による「集落営農組織」の設立を検討していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理事業の活用による担い手への農地集積・集約を基本としつつ、担い手の農作業に支障のない範囲で多様な経営体へ農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	19.8	%	将来の目標とする集積率
			80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農用地の団地化(集約化)については、古竹出草津集落(中山間地域等直接支払制度)が中心となって担い手への農地集積・集約を進め、団地面積の増加を目指す。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用し、認定農業者等の担い手を中心に農地の集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地については、所有者の意向を踏まえた上で農地中間管理機構に貸し付けし、その農地を担い手に集積・集約していく。
(3) 基盤整備事業への取組
農地の大区画化、排水対策、農道・水路の整備について、国・県補助事業等の活用を検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
関係機関・団体と連携を図りつつ、地区内の多様な経営体が農業経営を展開できるよう、古竹出草津集落(中山間地域等直接支払制度)がサポートを行う。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地区内有志による集落営農組織の設立を検討し、作業受託(水稻・飼料作物)による農作業の効率化等を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

①鳥獣被害防止対策については、電気柵の設置で被害防止を図るとともに、串間市猟友会との連携による駆除を進める。
 ⑨農地の有効活用を図るため、畦畔除去による農地の大区画化のほか、排水対策や農道・水路の再整備を検討していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		水稲、飼料、肉用牛	0.65 ha	ha	水稲、飼料、肉用牛	1.57 ha	ha	A	
利用者		飼料	0.18 ha	ha	飼料	1.61 ha	ha	B	
利用者		管理	0.07 ha	ha	管理	0.04 ha	ha	C	
利用者		水稲	0.16 ha	ha	水稲	0.16 ha	ha	D	
利用者		管理	0.32 ha	ha	管理	0.29 ha	ha	E	
認農		水稲、飼料、乳用牛	0.42 ha	ha	水稲、飼料、乳用牛	0.34 ha	ha	F	
利用者		水稲	0.06 ha	ha	水稲	0.32 ha	ha	G	
利用者		水稲	0.05 ha	ha	水稲	0.05 ha	ha	H	
利用者		水稲、飼料	0.51 ha	ha	水稲、飼料	1.00 ha	0.20 ha	I	
認農		飼料、肉用牛	0.06 ha	ha	飼料、肉用牛	0.06 ha	ha	J	
認農		飼料、肉用牛	0.00 ha	ha	飼料、肉用牛	0.23 ha	ha	K	
利用者		管理	0.08 ha	ha	管理	0.08 ha	ha	L	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	12経営体		2.56 ha	0.00 ha		5.75 ha	0.20 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画(大納地区)



凡例	
農業上の利用が行われる区域	
大納研修センター	

地域計画

策定年月日	令和 年 月 日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	串間市 45207
地域名 (地域内農業集落名)	大納地区 (宮ノ浦・恋ヶ浦・大納・名谷)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	24.45 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	24.45 ha
② 田の面積	23.77 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.67 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	2.13 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.32 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	22.79 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	22.79 ha
(備考)遊休農地面積0.79ha(うち1号遊休農地0.79ha、2号遊休農地0.00ha) ⑤は、地区内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

大納地区は、串間市中心部から南東へ約8kmに位置し、水田において早期水稻、施設ピーマン、施設きんかん、施設花き、つわぶき、飼料作物等の作付及び繁殖牛の飼育が行われているが、鳥獣被害の増加などが大きな問題となっている。また、担い手については認定農業者(4名)が確保できているが、10年後には担い手が減少することが懸念される。

【地域の基礎的データ】

農業者:16人(うち50歳代以下2人)、組織経営体:なし

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

大納地区には、地域組織がないことから、地域計画の策定を契機に地域組織の設立に向けて検討を行い、担い手への農地集積及びその保全に取り組む。
また、大納地区は、早期水稻や飼料作物のほか、高収益作物として施設ピーマン、施設きんかん、施設花きの作付けが行われており、引き続き、産地の維持・発展を図りつつ、新しい取組として収益性の高い作物(特に土地利用型作物)の導入を検討していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理事業の活用による担い手への農地集積・集約を基本としつつ、担い手の農作業に支障のない範囲で多様な経営体へ農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	19 %	将来の目標とする集積率	80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農用地の団地化(集約化)については、地域計画の実現に向けた話し合いにより、担い手への農地集積・集約を進め、団地面積の増加を目指す。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用し、認定農業者等の担い手を中心に農地の集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地については、所有者の意向を踏まえた上で農地中間管理機構に貸し付けし、その農地を担い手に集積・集約していく。
(3) 基盤整備事業への取組
大納地区については、農地の大区画化のほか、排水対策、農道・水路の再整備が必要であることから、国・県補助事業の活用を検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地区内の多様な経営体が農業経営を展開できるよう、担い手がサポートを行う。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地区内担い手による作業受託(水稲・飼料作物)を進め、農作業の効率化等を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害防止対策については、電気柵の設置で被害防止を図るとともに、串間市猟友会との連携による駆除を進める。
- ⑨農地の有効活用を図るため、農地の大区画化及び排水対策、農道整備を検討していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	16経営体		10.57 ha	0.00 ha		16.59 ha	0.00 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者	水稲	0.18 ha	ha	水稲	0.18 ha	ha	A	共同
2	利用者	施設花き	0.35 ha	ha	施設花き	0.45 ha	ha	B	
3	利用者	水稲	0.37 ha	ha	水稲	0.37 ha	ha	C	
4	利用者	水稲	0.22 ha	ha	水稲	0.63 ha	ha	D	
5	利用者	水稲	1.19 ha	ha	水稲	1.51 ha	ha	E	
6	利用者	水稲、飼料	0.69 ha	ha	水稲、飼料	0.87 ha	ha	F	
7	利用者	水稲、飼料	0.23 ha	ha	水稲、飼料	0.44 ha	ha	G	
8	認農	水稲、飼料	1.01 ha	ha	水稲、飼料	2.39 ha	ha	H	
9	利用者	水稲、飼料	0.38 ha	ha	水稲、飼料	1.48 ha	ha	I	
10	利用者	飼料	0.65 ha	ha	飼料	0.62 ha	ha	J	
11	認農	施設金柑、水稲、飼料	0.94 ha	ha	水稲、飼料	0.69 ha	ha	K	
12	利用者	つわぶき	0.32 ha	ha	つわぶき	0.30 ha	ha	L	
13	利用者	施設ピーマン、水稲	0.59 ha	ha	施設ピーマン、水稲	0.59 ha	ha	M	
14	認農	飼料、繁殖牛	1.53 ha	ha	飼料、繁殖牛	2.56 ha	ha	N	
15	利用者	つわぶき、飼料	0.61 ha	ha	つわぶき、飼料	0.63 ha	ha	O	
16	認農	飼料、繁殖牛	1.31 ha	ha	飼料、繁殖牛	2.88 ha	ha	P	
			ha	ha		ha	ha		
			10.57 ha	0.00 ha		16.59 ha	0.00 ha		

地域計画(崎田地区)



凡例	
農業上の利用が行われる区域	
崎田地区多目的研修集会施設	

地域計画

策定年月日	令和 年 月 日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	串間市 45207
地域名 (地域内農業集落名)	崎田地区 (上南・下南・仲・浦・永田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	101.00 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	97.33 ha
② 田の面積	98.95 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	2.05 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	23.90 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	5.64 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	74.52 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	74.52 ha
(備考)遊休農地面積0.00ha(うち1号遊休農地0.00ha、2号遊休農地0.00ha) ⑤は、地区内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

崎田地区は、串間市中心部から南東へ約6.5kmに位置し、水田において早期水稲、加工用米、業務用米、飼料用米、施設きゅうり、ごぼう等の作付が行われているが、鳥獣被害の増加などが大きな問題となっている。また、担い手については認定農業者(17名)が確保できているが、10年後には担い手が減少することが懸念される。

【地域の基礎的データ】

農業者:29人(うち50歳代以下5人)、組織経営体:なし

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

崎田地区には、地区内の農地の保全を目的として設立した浦地区環境保全組合、崎田地区環境保全組合、永田川自然環境を守る会が存在しており、この地域組織が中心となって、担い手への農地集積及びその保全に取り組む。また、崎田地区は、市内有数の水稲の産地であり、早期水稲をはじめ、加工用米や業務用米など、様々な品種の作付けが行われていることから、引き続き、産地の維持・発展を図りつつ、新しい取組として収益性の高い作物(特に土地利用型作物)の導入を検討していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理事業の活用による担い手への農地集積・集約を基本としつつ、担い手の農作業に支障のない範囲で多様な経営体へ農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	46 %	将来の目標とする集積率	80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農用地の団地化(集約化)については、浦地区環境保全組合、崎田地区環境保全組合、永田川自然環境を守る会が中心となって担い手への農地集積・集約を進め、団地面積の増加を目指す。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用し、認定農業者等の担い手を中心に農地の集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地については、所有者の意向を踏まえた上で農地中間管理機構に貸し付けし、その農地を担い手に集積・集約していく。
(3) 基盤整備事業への取組
崎田地区については、農地の大区画化のほか、排水対策、農道・水路の再整備が必要であることから、国・県補助事業の活用を検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地区内の多様な経営体が農業経営を展開できるよう、浦地区環境保全組合、崎田地区環境保全組合、永田川自然環境を守る会がサポートを行う。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地区内担い手による作業受託(水稲)を進め、農作業の効率化等を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害防止対策については、電気柵の設置で被害防止を図るとともに、串間市猟友会との連携による駆除を進める。
- ②③④地区内で有機農業、スマート農業、海外輸出に関する研修を行いながら、必要に応じて実践していく。
- ⑨農地の有効活用を図るため、農地の大区画化及び排水対策、農道整備を検討していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	29経営体		40.95 ha	0.00 ha		60.90 ha	0.00 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

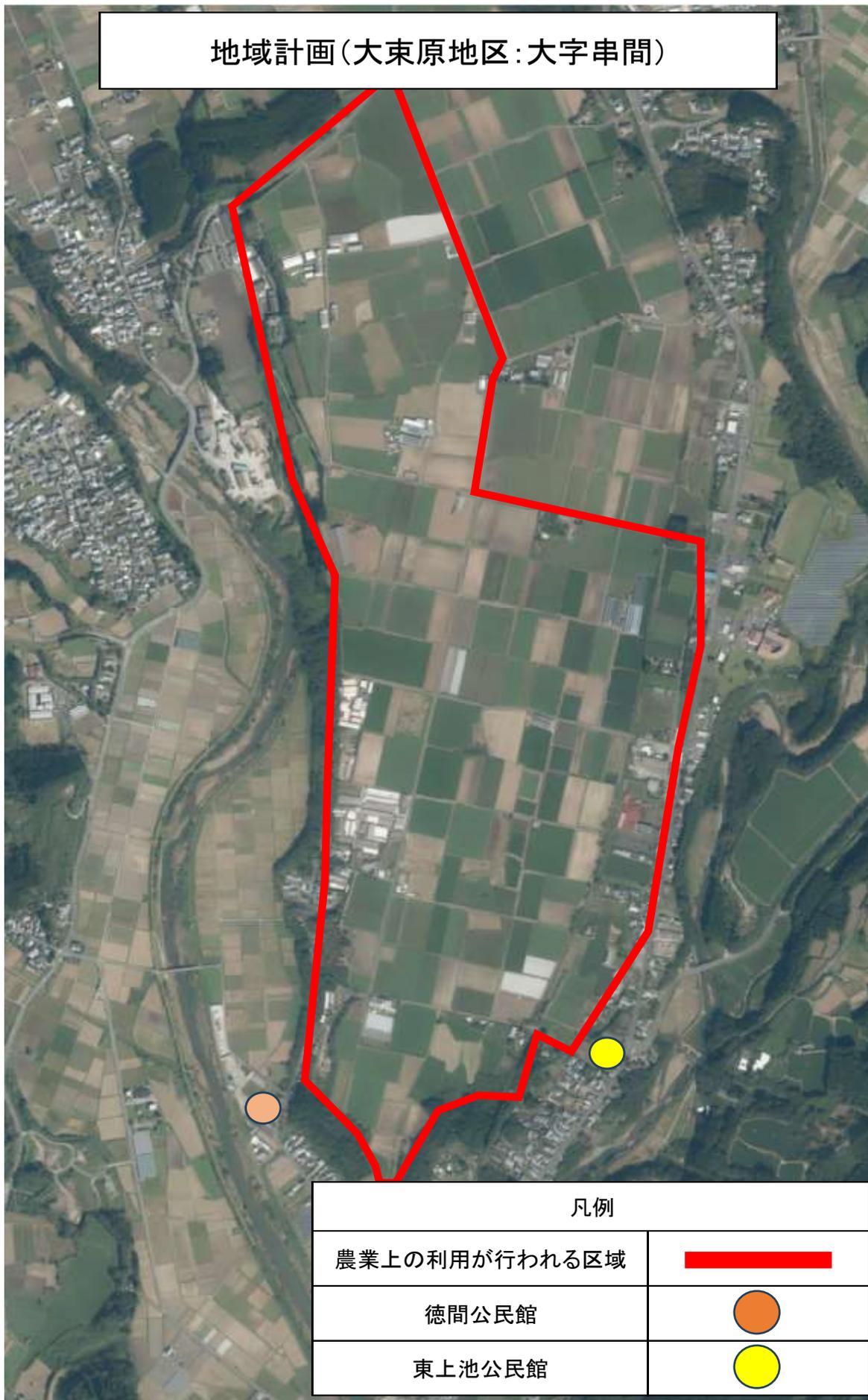
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	水稲、飼料	8.20 ha	ha	水稲、飼料	10.72 ha	ha	A	
2	認農	水稲	0.17 ha	ha	水稲	0.53 ha	ha	B	
3	認農	飼料	0.13 ha	ha	飼料	0.13 ha	ha	C	
4	認農	水稲	0.34 ha	ha	水稲	1.03 ha	ha	D	
5	認農	水稲	0.51 ha	ha	水稲	1.81 ha	ha	E	
6	利用者	水稲	0.06 ha	ha	水稲	0.06 ha	ha	F	
7	認農	水稲	0.18 ha	ha	水稲	0.29 ha	ha	G	
8	利用者	飼料	0.30 ha	ha	飼料	0.30 ha	ha	H	
9	利用者	水稲	1.12 ha	ha	水稲	1.00 ha	ha	I	
10	利用者	水稲	0.75 ha	ha	水稲	5.52 ha	ha	J	
11	利用者	水稲	0.95 ha	ha	—	0.00 ha	ha	K	
12	認農	水稲、飼料	0.21 ha	ha	—	0.00 ha	ha	L	
13	認農	水稲、飼料	3.27 ha	ha	水稲、飼料	6.22 ha	ha	M	
14	利用者	水稲	1.85 ha	ha	水稲	3.86 ha	ha	N	
15	認農	水稲、飼料	4.21 ha	ha	—	0.00 ha	ha	O	
16	認農	水稲、飼料	1.40 ha	ha	水稲、飼料	1.36 ha	ha	P	
17	利用者	水稲	1.31 ha	ha	水稲	3.00 ha	ha	Q	
18	認農	水稲	0.95 ha	ha	—	0.00 ha	ha	R	
19	認農	水稲、飼料	5.61 ha	ha	水稲、飼料	7.61 ha	ha	S	
20	認農	水稲、飼料	3.05 ha	ha	水稲、飼料	11.99 ha	ha	T	
21	利用者	水稲、飼料	0.75 ha	ha	—	0.00 ha	ha	U	
22	認農	水稲	1.68 ha	ha	—	0.00 ha	ha	V	
23	利用者	ごぼう	0.33 ha	ha	ごぼう	0.27 ha	ha	W	
24	認農	水稲、飼料	1.05 ha	ha	水稲、飼料	1.34 ha	ha	X	
25	利用者	水稲	0.60 ha	ha	水稲	0.55 ha	ha	Y	
26	利用者	水稲	1.56 ha	ha	水稲	2.87 ha	ha	Z	
27	利用者	水稲	0.41 ha	ha	水稲	0.44 ha	ha	AA	
28	認農	養豚	— ha	ha	養豚	— ha	ha	AB	農業用施設利用
29	認農	肥育牛、繁殖牛	— ha	ha	肥育牛、繁殖牛	— ha	ha	AC	農業用施設利用
			40.95 ha	0.00 ha		60.90 ha	0.00 ha		

地域計画(大東原地区:大字串間)



凡例

農業上の利用が行われる区域	
徳間公民館	
東上池公民館	

地域計画

策定年月日	令和 年 月 日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	串間市 45207
地域名 (地域内農業集落名)	大東原地区(大字串間) (東桂原・西桂原・徳間・東上池)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	79.66 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	79.66 ha
② 田の面積	0.00 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	79.66 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.32 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	28.12 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	32.73 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	32.73 ha
(備考)遊休農地面積0.00ha(うち1号遊休農地0.00ha、2号遊休農地0.00ha) ⑤は、地区内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

大東原地区(大字串間)は串間市中心部から北へ約3kmに位置し、畑において食用甘藷、ごぼう、施設果樹、茶、飼料作物等の作付が行われているが、鳥獣被害の増加、サツマイモ基腐病の被害拡大などが大きな問題となっている。また、担い手については認定農業者(39名)、認定新規就農者(1名)が確保できているが、10年後には担い手が減少することが懸念される。

【地域の基礎的データ】

農業者:43人(うち50歳代以下20人)、組織経営体:6法人

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

大東原地区(大字串間)には、地域組織がないことから、地域計画の策定を契機に地域組織の設立に向けて検討を行い、担い手への農地集積及び農地保全に取り組む。

また、大東原地区(大字串間)では、高収益作物として食用甘藷、施設果樹等の作付けが行われているが、長引く「サツマイモ基腐病」の影響により食用甘藷の作付面積が減少している状況にある。その対応策として①持ち込まない(種芋の選別、苗床の消毒等) ②増やさない(輪作、排水対策等) ③残さない(収穫残渣の持ち出し等)を徹底し、優良産地として維持・発展を図るとともに、収益性の高い作物(特に土地利用型作物)について導入を検討していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理事業の活用による担い手への農地集積・集約を基本としつつ、担い手の農作業に支障のない範囲で多様な経営体へ農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	49 %	将来の目標とする集積率	80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農用地の団地化(集約化)については、地域計画の実現に向けた話し合いにより、担い手への農地集積・集約を進め、団地面積の増加を目指す。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用し、認定農業者や集落営農法人等の担い手を中心に農地の集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地については、所有者の意向を踏まえた上で農地中間管理機構に貸し付けし、その農地を担い手に集積・集約していく。
(3) 基盤整備事業への取組
大東原地区(大字串間)については、スマート農業を効率的に進めるための農地の大区画化のほか、排水対策、農道整備が必要であることから、国・県補助事業の活用を検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地区内の多様な経営体が農業経営を展開できるよう、地区内耕作者がサポートを行う。(地域組織を設立した後はその組織が中心的な役割を担う)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地区内担い手による作業受託(食用甘藷のドローン防除等)を進め、農作業の効率化等を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

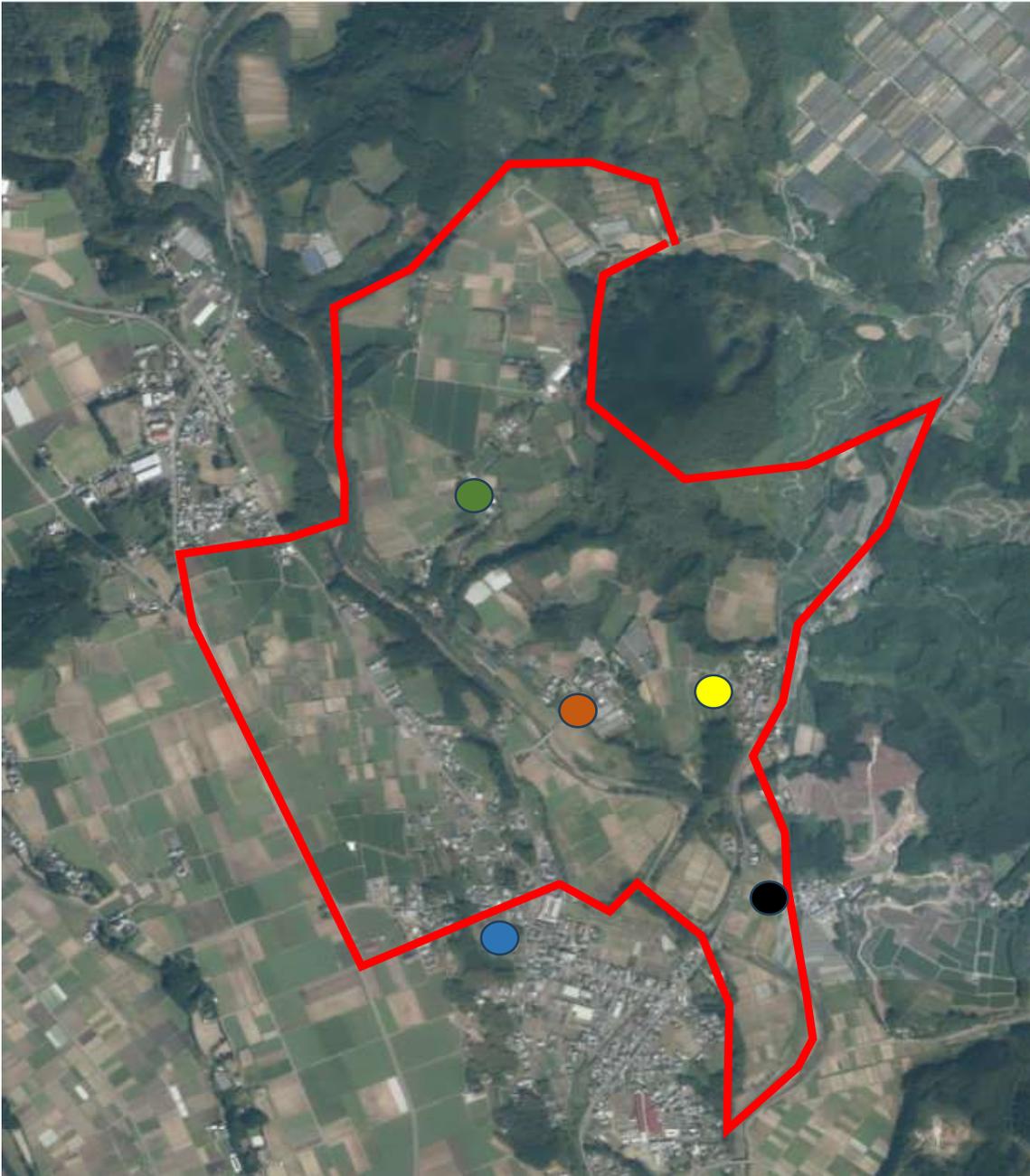
- ①鳥獣被害防止対策については、電気柵の設置で被害防止を図るとともに、串間市猟友会との連携による駆除を進める。
- ②③④地区内で有機農業、スマート農業、海外輸出に関する研修を行いながら、必要に応じて実践していく。
- ⑤農地の有効活用を図るため、農地の大区画化及び排水対策、農道整備を検討していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農		飼料、繁殖牛	0.73 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.73 ha	ha	A	
2	認農		飼料、繁殖牛	1.20 ha	ha	飼料、繁殖牛	2.09 ha	ha	B	
3	利用者		管理	0.78 ha	ha	管理	0.00 ha	ha	C	
4	利用者		飼料、繁殖牛	0.87 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.87 ha	ha	D	
5	利用者		甘藷	1.10 ha	ha	甘藷	0.00 ha	ha	E	
6	認農		甘藷	0.88 ha	ha	甘藷	0.88 ha	ha	F	
7	認農		飼料、繁殖牛	0.08 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.08 ha	ha	G	
8	認農		茶	7.17 ha	ha	茶	6.02 ha	ha	H	
9	認農		飼料、繁殖牛	0.65 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.65 ha	ha	I	
10	認農		甘藷	1.91 ha	ha	甘藷	4.99 ha	ha	J	
11	認農		甘藷	0.14 ha	ha	甘藷	0.14 ha	ha	K	
12	認農		甘藷	0.95 ha	ha	甘藷	0.95 ha	ha	L	
13	認農		甘藷	0.86 ha	ha	甘藷	0.86 ha	ha	M	
14	認農		飼料、繁殖牛	2.28 ha	ha	飼料、繁殖牛	2.28 ha	ha	N	
15	認就		飼料、繁殖牛	0.81 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.81 ha	ha	O	
16	認農		甘藷	1.56 ha	ha	甘藷	1.15 ha	ha	P	
17	利用者		管理	0.05 ha	ha	管理	0.05 ha	ha	Q	
18	認農		甘藷	0.78 ha	ha	甘藷	0.78 ha	ha	R	
19	認農		管理	0.23 ha	ha	管理	0.23 ha	ha	S	
20	認農		飼料、肥育牛、繁殖牛	0.79 ha	ha	飼料、肥育牛、繁殖牛	10.00 ha	ha	T	
21	認農		飼料、乳用牛	0.24 ha	ha	飼料、乳用牛	0.24 ha	ha	U	
22	認農		甘藷、ごぼう	0.75 ha	ha	甘藷、ごぼう	2.45 ha	ha	V	
23	認農		飼料、繁殖牛	1.19 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.87 ha	ha	W	
24	認農		管理	0.89 ha	ha	管理	0.00 ha	ha	X	
25	認農		甘藷	0.39 ha	ha	甘藷	0.39 ha	ha	Y	
26	認農		飼料、繁殖牛	0.14 ha	ha	飼料、繁殖牛	1.10 ha	ha	Z	
27	認農		甘藷	0.10 ha	ha	甘藷	0.10 ha	ha	AA	
28	認農		甘藷	0.29 ha	ha	甘藷	0.00 ha	ha	AB	
29	認農		甘藷	0.90 ha	ha	甘藷	0.19 ha	ha	AC	
30	認農		管理	0.62 ha	ha	管理	0.36 ha	ha	AD	
31	認農		甘藷	1.36 ha	ha	甘藷	1.36 ha	ha	AE	
32	利用者		甘藷、飼料	1.94 ha	ha	甘藷、飼料	1.41 ha	ha	AF	
33	利用者		管理	1.13 ha	ha	管理	1.13 ha	ha	AG	
34	利用者		管理	1.49 ha	ha	管理	1.49 ha	ha	AH	
35	認農		飼料、繁殖牛	2.10 ha	ha	飼料、繁殖牛	2.08 ha	ha	AI	
36	認農		飼料、繁殖牛	0.74 ha	ha	飼料、繁殖牛	2.93 ha	ha	AJ	
37	認農		甘藷	2.59 ha	ha	甘藷	2.63 ha	ha	AK	
38	認農		ごぼう	0.38 ha	ha	ごぼう	0.80 ha	ha	AL	
39	認農		ごぼう	0.40 ha	ha	ごぼう	0.40 ha	ha	AM	
40	認農		飼料、乳用牛	1.45 ha	ha	飼料、乳用牛	5.45 ha	ha	AN	
41	認農		飼料、乳用牛	0.86 ha	ha	飼料、乳用牛	8.55 ha	ha	AO	
42	認農		飼料、繁殖牛	1.31 ha	ha	飼料、繁殖牛	1.31 ha	ha	AP	
43	認農		甘藷	0.55 ha	ha	甘藷	0.55 ha	ha	AQ	

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
44	利用者	管理	0.59 ha	ha	管理	0.88 ha	ha	AR	
45	認農	飼料、肥育牛、繁殖牛	3.47 ha	ha	飼料、肥育牛、繁殖牛	4.51 ha	ha	AS	
46	認農	茶、果樹	1.40 ha	ha	茶、果樹	1.40 ha	ha	AT	
47	認農	甘藷	1.10 ha	ha	甘藷	4.65 ha	ha	AU	
48	認農	飼料、肥育牛、繁殖牛	0.36 ha	ha	飼料、肥育牛、繁殖牛	1.45 ha	ha	AV	
49	利用者	飼料、繁殖牛	0.50 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.53 ha	ha	AW	
			53.05 ha	0.00 ha		82.77 ha	0.00 ha		

地域計画(園田・平原・西ノ園・堂園・烏帽子野)



凡例	
農業上の利用が行われる区域	
園田公民館	
平原公民館	
西ノ園公民館	
堂園公民館	
烏帽子野公民館	

地域計画

策定年月日	令和 年 月 日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	串間市 45207
地域名 (地域内農業集落名)	園田・平原・西ノ園・堂園・烏帽子野地区 (上園田・下園田・平原・西ノ園・堂園・烏帽子野)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	73.13 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	70.12 ha
② 田の面積	25.79 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	47.34 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	9.83 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	2.20 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	56.24 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	48.12 ha
(備考)遊休農地面積0.57ha(うち1号遊休農地0.57ha、2号遊休農地0.00ha)	
⑤は、地区内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

園田・平原・西ノ園・堂園・烏帽子野地区は串間市中心部から北北東へ約4kmに位置し、水田において食用甘藷、水稻、ごぼう、しょうが、飼料作物、畑において食用甘藷、施設金柑、施設花き、茶、飼料作物等の作付、乳用牛の飼育が行われているが、鳥獣被害の増加、サツマイモ基腐病の被害拡大などが大きな問題となっている。また、担い手については認定農業者(30名)、認定新規就農者(2名)が確保できているが、10年後には担い手が減少することが懸念される。

【地域の基礎的データ】

農業者:47人(うち50歳代以下15人)、組織経営体:3法人

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

園田・平原・西ノ園・堂園・烏帽子野地区には、地区内の農地の保全を目的として設立した園田地区水路組合が存在しており、この地域組織等が中心となって、担い手への農地集積及びその保全に取り組む。

また、園田・平原・西ノ園・堂園・烏帽子野地区では、高収益作物として食用甘藷、ごぼう、施設金柑、施設花き等の作付けが行われているが、長引く「サツマイモ基腐病」の影響により食用甘藷の作付面積が減少している状況にある。その対応策として①持ち込まない(種芋の選別、苗床の消毒等) ②増やさない(輪作、排水対策等) ③残さない(収穫残渣の持ち出し等)を徹底し、優良産地として維持・発展を図るとともに、収益性の高い作物(特に土地利用型作物)について導入を検討していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理事業の活用による担い手への農地集積・集約を基本としつつ、担い手の農作業に支障のない範囲で多様な経営体へ農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	38 %	将来の目標とする集積率	85 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農用地の団地化(集約化)については、園田地区水路組合等が中心となって担い手への農地集積・集約を進め、団地面積の増加を目指す。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用し、認定農業者等の担い手を中心に農地の集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地については、所有者の意向を踏まえた上で農地中間管理機構に貸し付けし、その農地を担い手に集積・集約していく。
(3) 基盤整備事業への取組
園田・平原・西ノ園・堂園・烏帽子野地区については、排水対策、農道整備が必要であることから、国・県補助事業の活用を検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
関係機関・団体と連携を図りつつ、地区内の多様な経営体が農業経営を展開できるよう、園田地区水路組合及び地区内担い手がサポートを行う。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地区内担い手による作業受託(食用甘藷のドローン防除等)を進め、農作業の効率化等を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害防止対策については、電気柵の設置で被害防止を図るとともに、串間市猟友会との連携による駆除を進める。
- ③④地区内で、スマート農業、海外輸出に関する研修を行いながら、必要に応じて実践していく。
- ⑨農地の有効活用を図るため、排水対策、農道整備を検討していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	50経営体		42.89 ha	0.00 ha		53.79 ha	0.00 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

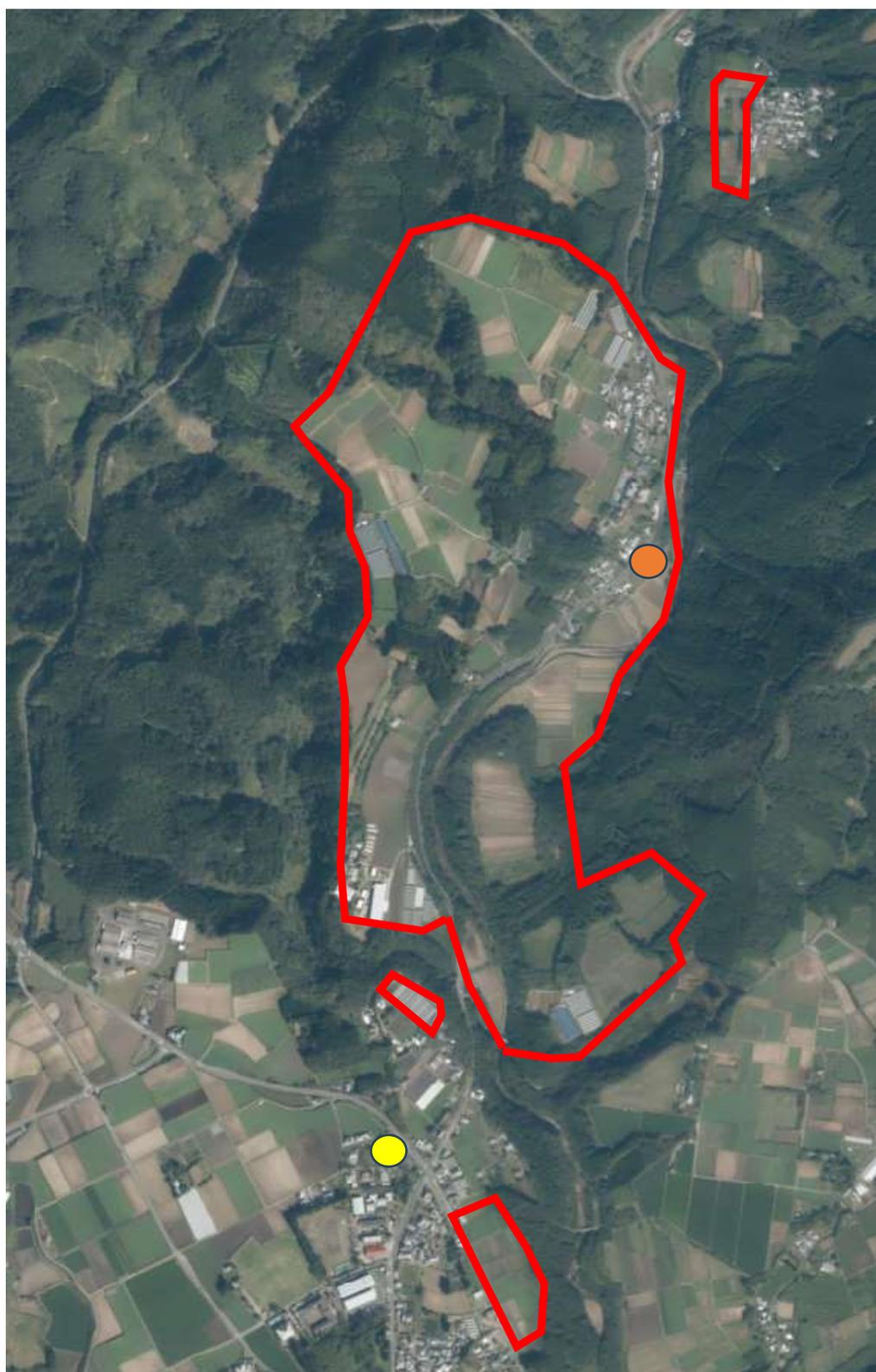
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	利用者	甘藷	1.30 ha	ha	甘藷	0.43 ha	ha	A	
2	利用者	ブロッコリー、ホウレン草	0.80 ha	ha	ブロッコリー、ホウレン草	2.80 ha	ha	B	
3	利用者	甘藷、ごぼう	0.70 ha	ha	甘藷、ごぼう	0.70 ha	ha	C	
4	利用者	飼料	1.53 ha	ha	飼料	1.72 ha	ha	D	
5	認農	茶	3.79 ha	ha	-	0.00 ha	ha	E	
6	認農	飼料、乳用牛	3.21 ha	ha	飼料、乳用牛	3.85 ha	ha	F	共同
7	認農	飼料、乳用牛	0.39 ha	ha	飼料、乳用牛	5.28 ha	ha	G	
8	認農	飼料、乳用牛	0.20 ha	ha	飼料、乳用牛	7.93 ha	ha	H	
9	認就	施設花苗、施設金柑	0.79 ha	ha	施設花苗、施設金柑	0.79 ha	ha	I	共同
10	認農	施設金柑	1.74 ha	ha	施設金柑	1.29 ha	ha	J	
11	利用者	水稲	0.30 ha	ha	水稲	0.30 ha	ha	K	
12	利用者	飼料	0.83 ha	ha	-	0.00 ha	ha	L	
13	利用者	飼料	0.43 ha	ha	飼料	0.74 ha	ha	M	
14	利用者	水稲	0.55 ha	ha	水稲	0.58 ha	ha	N	
15	認農	甘藷、茶	2.12 ha	ha	甘藷、茶	4.09 ha	ha	O	
16	認農	甘藷	1.00 ha	ha	甘藷	1.11 ha	ha	P	
17	認農	飼料	0.59 ha	ha	飼料	1.22 ha	ha	Q	
18	利用者	甘藷	0.20 ha	ha	-	0.00 ha	ha	R	
19	利用者	甘藷	0.86 ha	ha	甘藷	0.86 ha	ha	S	
20	利用者	施設金柑	0.16 ha	ha	施設金柑	0.16 ha	ha	T	
21	認農	甘藷	0.55 ha	ha	甘藷	0.75 ha	ha	U	共同
22	認農	甘藷	0.24 ha	ha	甘藷	0.41 ha	ha	V	
23	認農	甘藷	0.22 ha	ha	甘藷	0.62 ha	ha	W	
24	認農	甘藷	0.33 ha	ha	甘藷	0.47 ha	ha	X	
25	利用者	水稲	0.27 ha	ha	水稲	0.15 ha	ha	Y	
26	利用者	飼料	0.17 ha	ha	飼料	0.35 ha	ha	Z	
27	認農	甘藷	0.42 ha	ha	甘藷	0.39 ha	ha	AA	共同
28	認農	甘藷	0.77 ha	ha	甘藷	0.80 ha	ha	AB	
29	利用者	甘藷	0.16 ha	ha	-	0.00 ha	ha	AC	
30	認農	甘藷、ごぼう、しょうが	1.95 ha	ha	甘藷、ごぼう、しょうが	1.73 ha	ha	AD	
31	利用者	飼料	0.34 ha	ha	飼料	0.35 ha	ha	AE	
32	認農	甘藷、飼料	1.65 ha	ha	甘藷、飼料	2.38 ha	ha	AF	
33	認農	茶	3.70 ha	ha	-	0.00 ha	ha	AG	
34	認農	飼料、繁殖牛	0.62 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.62 ha	ha	AH	
35	認農	甘藷	0.40 ha	ha	甘藷	0.43 ha	ha	AI	
36	認農	甘藷、しょうが、繁殖牛	0.21 ha	ha	-	0.00 ha	ha	AJ	
37	認農	甘藷	0.40 ha	ha	甘藷	0.27 ha	ha	AK	
38	利用者	飼料	0.64 ha	ha	飼料	0.64 ha	ha	AL	
39	認農	甘藷	0.09 ha	ha	甘藷	0.09 ha	ha	AM	共同
40	利用者	甘藷	0.13 ha	ha	甘藷	0.13 ha	ha	AN	
41	認農	飼料、繁殖牛	0.13 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.73 ha	ha	AO	
42	認農	飼料、繁殖牛	0.34 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.97 ha	ha	AP	
43	認農	甘藷	0.65 ha	ha	甘藷	0.65 ha	ha	AQ	

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
44	認農	甘藷	3.82 ha	ha	甘藷	3.68 ha	ha	AR	共同
45	認就	施設金柑	0.57 ha	ha	施設金柑	0.57 ha	ha	AS	
46	認農	飼料、肥育牛、繁殖牛	0.72 ha	ha	飼料、肥育牛、繁殖牛	0.72 ha	ha	AT	
47	認農	飼料、乳用牛	1.16 ha	ha	飼料、乳用牛	1.16 ha	ha	AU	
48	認農	飼料、乳用牛	0.16 ha	ha	-	0.00 ha	ha	AV	
49	認農	飼料、乳用牛	0.28 ha	ha	飼料、乳用牛	0.57 ha	ha	AW	
50	利用者	甘藷	0.31 ha	ha	甘藷	0.31 ha	ha	AX	
			42.89 ha	0.00 ha		53.79 ha	0.00 ha		

地域計画(胡桃ヶ野・高則・揚原地区)



凡例	
農業上の利用が行われる区域	
高則公民館	
揚原公民館	

地域計画

策定年月日	令和 年 月 日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	串間市 45207
地域名 (地域内農業集落名)	胡桃ヶ野・高則・揚原地区 (胡桃ヶ野・上高則、下高則、上揚原 下揚原)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	24.73 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	24.73 ha
② 田の面積	7.05 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	17.68 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.29 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	13.03 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	20.07 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	19.12 ha
(備考)遊休農地面積0.07ha(うち1号遊休農地0.07ha、2号遊休農地0.00ha) ⑤は、地区内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>胡桃ヶ野・高則・揚原地区は串間市中心部から北へ約6kmに位置し、水田において水稻、食用甘藷、施設花き、飼料作物、畑において食用甘藷、施設金柑、施設花き、マンゴー、へべす、飼料作物等の作付と、繁殖牛及び乳用牛の飼育が行われているが、鳥獣被害の増加、サツマイモ基腐病の被害拡大などが大きな問題となっている。また、担い手については認定農業者(14名)が確保できているが、10年後には担い手が減少することが懸念される。</p> <p>【地域の基礎的データ】 農業者:26人(うち50歳代以下7人)、組織経営体:2法人</p>

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>胡桃ヶ野・高則・揚原地区には、地域組織がないことから、地域計画の策定を契機に地域組織の設立に向けて検討を行い、担い手への農地集積及び農地保全に取り組む。</p> <p>また、胡桃ヶ野・高則・揚原地区では、高収益作物として食用甘藷、施設金柑、マンゴー、施設花き等の作付けが行われているが、長引く「サツマイモ基腐病」の影響により食用甘藷の作付面積が減少している状況にある。その対応策として①持ち込まない(種芋の選別、苗床の消毒等) ②増やさない(輪作、排水対策等) ③残さない(収穫残渣の持ち出し等)を徹底し、優良産地として維持・発展を図るとともに、引き続き、施設園芸についても生産振興を図っていくこととし、必要に応じて収益性の高い作物(特に土地利用型作物)の導入を検討していく。</p>

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理事業の活用による担い手への農地集積・集約を基本としつつ、担い手の農作業に支障のない範囲で多様な経営体へ農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	26 %	将来の目標とする集積率	80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農用地の団地化(集約化)については、地域計画の実現に向けた話し合いにより、担い手への農地集積・集約を進め、団地面積の増加を目指す。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用し、認定農業者等の担い手を中心に農地の集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地については、所有者の意向を踏まえた上で農地中間管理機構に貸し付けし、その農地を担い手に集積・集約していく。
(3) 基盤整備事業への取組
胡桃ヶ野・高則・揚原地区については、スマート農業を効率的に進めるための農地の大区画化のほか、農道整備が必要であることから、国・県補助事業の活用を検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地区内の多様な経営体が農業経営を展開できるよう、地区内耕作者がサポートを行う。(地域組織を設立した後はその組織が中心的な役割を担う)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地区内担い手による作業受託(食用甘藷のドローン防除等)を進め、農作業の効率化等を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

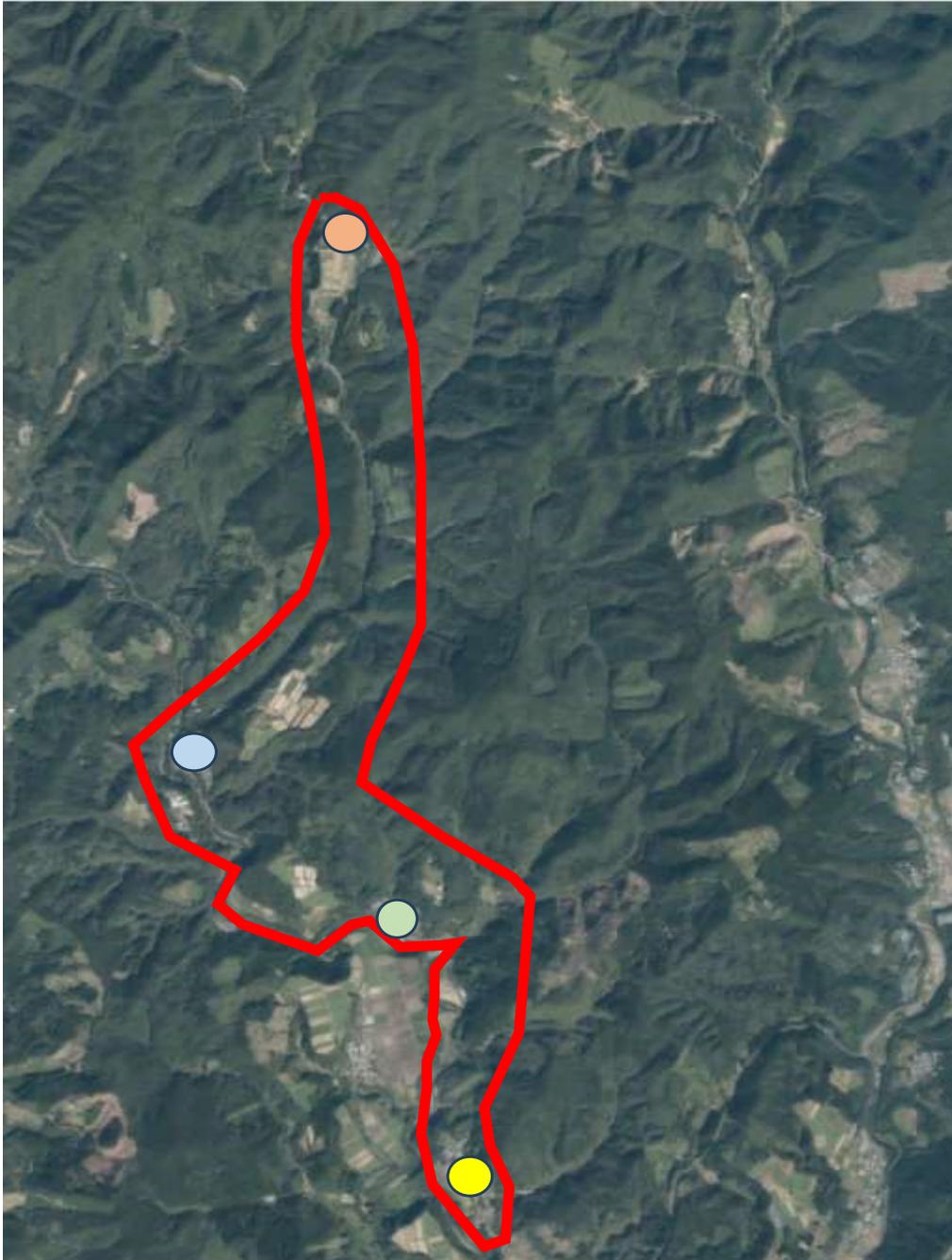
【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害防止対策については、電気柵の設置で被害防止を図るとともに、串間市猟友会との連携による駆除を進める。
- ③地区内でスマート農業に関する研修を行いながら、必要に応じて実践していく。
- ⑨農地の有効活用を図るため、農地の大区画化及農道整備を検討していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	甘藷	0.48 ha	ha	甘藷	0.48 ha	ha	A	共同
2	利用者	水稲	0.27 ha	ha	水稲	0.27 ha	ha	B	
3	利用者	甘藷	0.02 ha	ha	甘藷	0.05 ha	ha	C	
4	利用者	水稲、飼料	0.55 ha	ha	水稲、飼料	2.73 ha	ha	D	
5	利用者	水稲	0.67 ha	ha	水稲	0.20 ha	ha	E	
6	認農	甘藷、へべす、飼料	0.96 ha	ha	甘藷、へべす、飼料	1.42 ha	ha	F	
7	利用者	施設金柑	0.79 ha	ha	施設金柑	0.53 ha	ha	G	
8	利用者	水稲、野菜	0.38 ha	ha	水稲、野菜	0.24 ha	ha	H	
9	利用者	水稲	0.62 ha	ha	水稲	0.62 ha	ha	I	
10	認農	飼料、乳用牛	1.82 ha	ha	飼料、乳用牛	4.72 ha	ha	J	
11	認農	甘藷	1.93 ha	ha	甘藷	1.90 ha	ha	K	
12	利用者	管理	0.07 ha	ha	管理	0.07 ha	ha	L	
13	認農	施設花き	0.47 ha	ha	施設花き	0.78 ha	ha	M	
14	利用者	飼料、乳用牛	0.15 ha	ha	飼料、乳用牛	0.23 ha	ha	N	
15	利用者	水稲、飼料	0.47 ha	ha	-	0.00 ha	ha	O	
16	認農	マンゴー	0.43 ha	ha	マンゴー	0.43 ha	ha	P	
17	認農	施設金柑	0.93 ha	ha	施設金柑	0.93 ha	ha	Q	
18	認農	甘藷	0.27 ha	ha	甘藷	0.27 ha	ha	R	
19	利用者	飼料	0.07 ha	ha	飼料	0.07 ha	ha	S	
20	認農	飼料	3.16 ha	ha	飼料	3.16 ha	ha	T	
21	認農	飼料、繁殖牛	0.27 ha	ha	-	0.00 ha	ha	U	
22	利用者	飼料	0.15 ha	ha	飼料	0.48 ha	ha	V	
23	認農	飼料	0.23 ha	ha	飼料	0.23 ha	ha	W	
24	認農	甘藷	0.15 ha	ha	甘藷	0.15 ha	ha	X	
25	認農	飼料、乳用牛	0.12 ha	ha	飼料、乳用牛	0.74 ha	ha	Y	
26	利用者	飼料	0.05 ha	ha	飼料	0.05 ha	ha	Z	
27	認農	甘藷	0.10 ha	ha	甘藷	0.07 ha	ha	AA	
28	利用者	甘藷、ズッキーニ、 オクラ	2.17 ha	ha	甘藷、ズッキーニ、 オクラ	14.50 ha	ha	AB	
			17.75 ha	0.00 ha		35.32 ha	0.00 ha		

地域計画(大矢取・赤池・真萱・大重野地区)



凡例	
農業上の利用が行われる区域	
大矢取公民館	
赤池公民館	
真萱公民館	
大重野公民館	

地域計画

策定年月日	令和 年 月 日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	串間市 45207
地域名 (地域内農業集落名)	大矢取・赤池・真萱・大重野地区 (上大矢取・下大矢取・真萱・大重野)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	20.77 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	20.77 ha
② 田の面積	4.67 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	16.10 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.03 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	13.66 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	13.66 ha
(備考)遊休農地面積0.10ha(うち1号遊休農地0.10ha、2号遊休農地0.00ha)	
⑤は、地区内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

大矢取・赤池・真萱・大重野地区は串間市中心部から北へ約8kmに位置し、水田においては水稻、食用甘藷、畑では食用甘藷、葉たばこ、果樹、飼料作物の作付が行われているが、鳥獣被害の増加、サツマイモ基腐病の被害拡大などが大きな問題となっている。また、担い手については認定農業者(5名)が確保できているが、10年後には担い手が減少することが懸念される。

【地域の基礎的データ】

農業者:9人(うち50歳代以下1人)、組織経営体:1法人

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

大矢取・赤池・真萱・大重野地区には、地域組織がないことから、地域計画の策定を契機に地域組織の設立に向けて検討を行い、担い手への農地集積及び農地保全に取り組む。

また、大矢取・赤池・真萱・大重野地区では、高収益作物として食用甘藷、葉たばこ、果樹(きんかん、ぶどう、へべす)の作付が行われているが、長引く「サツマイモ基腐病」の影響により食用甘藷の作付面積が減少している状況にある。その対応策として①持ち込まない(種芋の選別、苗床の消毒等) ②増やさない(輪作、排水対策等) ③残さない(収穫残渣の持ち出し等)を徹底し、優良産地として維持・発展を図るとともに、収益性の高い作物(特に土地利用型作物)について導入を検討していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理事業の活用による担い手への農地集積・集約を基本としつつ、担い手の農作業に支障のない範囲で多様な経営体へ農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	30 %	将来の目標とする集積率	80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農用地の団地化(集約化)については、地域計画の実現に向けた話し合いにより、担い手への農地集積・集約を進め、団地面積の増加を目指す。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用し、認定農業者等の担い手を中心に農地の集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地については、所有者の意向を踏まえた上で農地中間管理機構に貸し付けし、その農地を担い手に集積・集約していく。
(3) 基盤整備事業への取組
農地の大区画化、排水対策、農道・水路の整備について、国・県補助事業の活用を検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
関係機関・団体と連携を図りつつ、地区内の多様な経営体が農業経営を展開できるよう、地区内担い手がサポートを行う。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地区内担い手による作業受託(食用甘藷のドローン防除等)を進め、農作業の効率化等を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害防止対策については、電気柵の設置で被害防止を図るとともに、串間市猟友会との連携による駆除を進める。
- ④地区内で海外輸出に関する研修を行いながら、必要に応じて実践していく。
- ⑨農地の有効活用を図るため、農地の大区画化及び排水対策、農道整備を検討していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		水稲	0.42 ha	ha	水稲	0.42 ha	ha	A	
利用者		甘藷、水稲	0.59 ha	ha	甘藷、水稲	0.78 ha	ha	B	
利用者		水稲	0.31 ha	ha	—	0.00 ha	ha	C	
利用者		甘藷、水稲	1.23 ha	ha	甘藷、水稲	2.77 ha	ha	D	
認農		飼料、繁殖牛	1.43 ha	ha	飼料、繁殖牛	1.43 ha	ha	E	
認農		きんかん、へべす	0.51 ha	ha	きんかん、へべす	0.51 ha	ha	F	
認農		葉たばこ、甘藷	5.66 ha	ha	葉たばこ、甘藷	9.91 ha	ha	G	
利用者		ぶどう	0.21 ha	ha	ぶどう	0.21 ha	ha	H	
認農		甘藷	0.21 ha	ha	—	0.00 ha	ha	I	
認農		飼料、繁殖牛	0.30 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.30 ha	ha	J	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	10経営体		10.87 ha	0.00 ha		16.33 ha	0.00 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画(田ノ野地区)



地域計画

策定年月日	令和 年 月 日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	串間市 45207
地域名 (地域内農業集落名)	田ノ野地区 (田ノ野)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	13.55 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	11.49 ha
② 田の面積	10.08 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	3.47 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	2.15 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	7.00 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	11.57 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	11.57 ha
(備考)遊休農地面積0.00ha(うち1号遊休農地0.00ha、2号遊休農地0.00ha) ⑤は、地区内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

田ノ野地区は串間市中心部から北へ約6kmに位置し、水田において食用甘藷、施設きんかん、マンゴー、水稻、飼料作物、畑においては施設きんかんの作付が行われているが、農地耕作条件が厳しく、また鳥獣被害の増加などが大きな問題となっている。また、担い手については認定農業者(10名)が確保できているが、10年後には担い手が減少することが懸念される。

【地域の基礎的データ】

農業者:24人(うち50歳代以下2人)、組織経営体:2法人

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

田ノ野地区には、地区内の農地の保全を目的として設立した聖水路会が存在しており、この地域組織が中心となって、担い手への農地集積及びその保全に取り組む。

また、田ノ野地区では、高収益作物として食用甘藷、施設きんかん、マンゴー、ぶどう、へべす等の作付けが行われており、特に果樹については市内有数の産地であることから、引き続き、産地の維持・発展を図っていくとともに収益性の高い作物(特に土地利用型作物)について導入を検討していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理事業の活用による担い手への農地集積・集約を基本としつつ、担い手の農作業に支障のない範囲で多様な経営体へ農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	9 %	将来の目標とする集積率	80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農用地の団地化(集約化)については、聖水路会が中心となって担い手への農地集積・集約を進め、団地面積の増加を目指す。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用し、認定農業者等の担い手を中心に農地の集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地については、所有者の意向を踏まえた上で農地中間管理機構に貸し付けし、その農地を担い手に集積・集約していく。
(3) 基盤整備事業への取組
田ノ野地区については、農地の大区画化、排水対策、農道整備が必要であることから、国・県補助事業の活用を検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
関係機関・団体と連携を図りつつ、地区内の多様な経営体が農業経営を展開できるよう、聖水路会がサポートを行う。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地区内担い手による作業受託を進め、農作業の効率化等を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

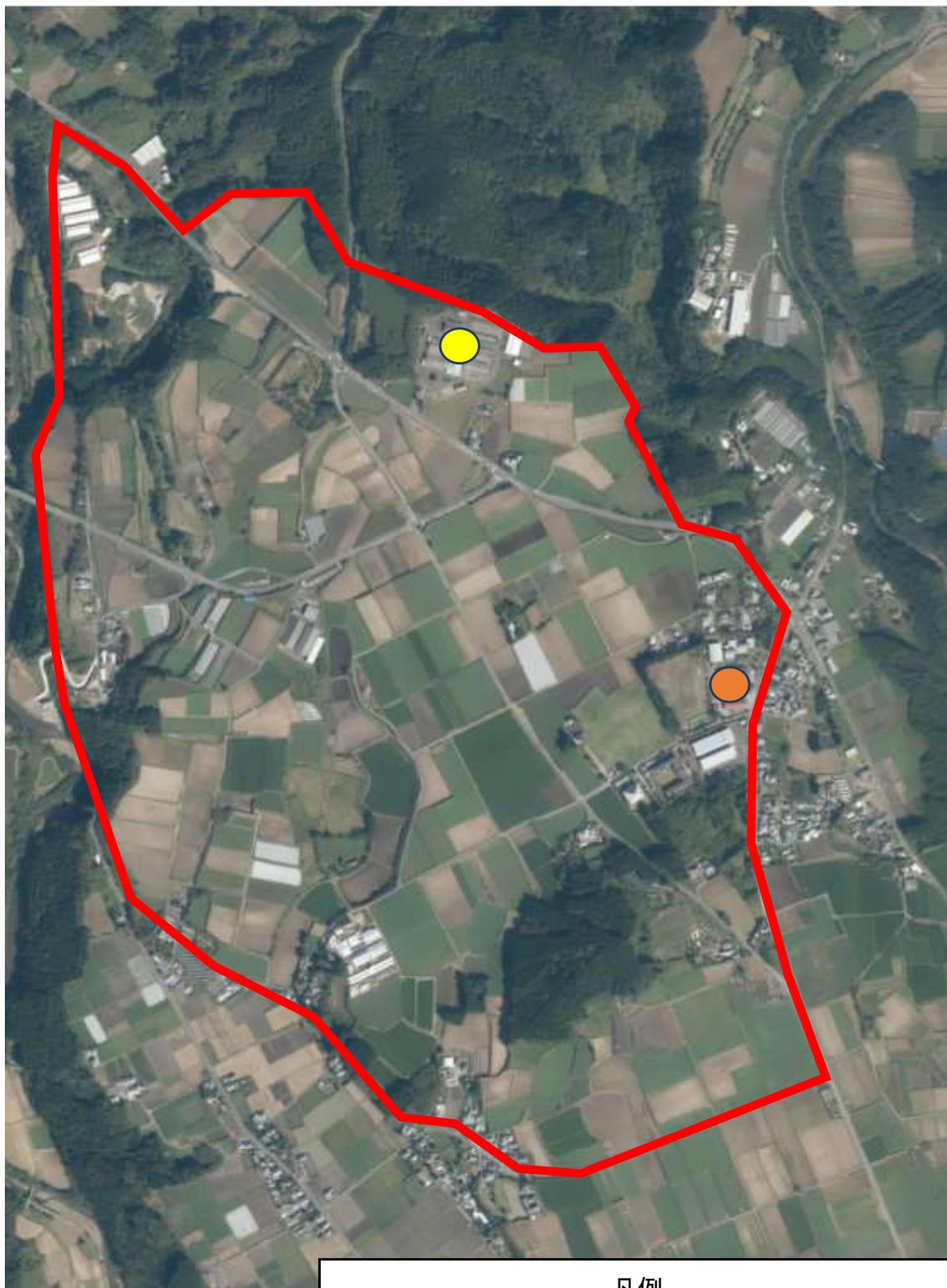
【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害防止対策については、電気柵の設置で被害防止を図るとともに、串間市猟友会との連携による駆除を進める。
- ③地区内でスマート農業に関する研修を行いながら、必要に応じて実践していく。
- ⑨農地の有効活用を図るため、農地の大区画化及び排水対策、農道整備を検討していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者	施設金柑	0.29 ha	ha	施設金柑	0.28 ha	ha	A	共同
2	利用者	施設金柑、水稲	0.43 ha	ha	施設金柑、水稲	1.17 ha	ha	B	
3	利用者	水稲	0.04 ha	ha	水稲	0.34 ha	ha	C	
4	利用者	水稲	0.37 ha	ha	水稲	0.31 ha	ha	D	
5	認農	施設金柑	0.48 ha	ha	施設金柑	0.51 ha	ha	E	
6	利用者	施設金柑、水稲	1.14 ha	ha	-	0.00 ha	ha	F	
7	利用者	施設金柑	0.30 ha	ha	-	0.00 ha	ha	G	
8	利用者	水稲	0.01 ha	ha	水稲	0.01 ha	ha	H	
9	認農	ぶどう	0.17 ha	ha	ぶどう	0.21 ha	ha	I	
10	認農	施設金柑、水稲	0.64 ha	ha	施設金柑、水稲	0.65 ha	ha	J	
11	認農	施設金柑	0.13 ha	ha	施設金柑	0.13 ha	ha	K	
12	認農	水稲	0.04 ha	ha	水稲	0.16 ha	ha	L	
13	利用者	甘藷、水稲	0.17 ha	ha	甘藷、水稲	0.28 ha	ha	M	
14	利用者	せとか、へべす	0.19 ha	ha	せとか、へべす	0.19 ha	ha	N	
15	認農	施設金柑	0.29 ha	ha	施設金柑	0.36 ha	ha	O	
16	利用者	水稲	0.21 ha	ha	水稲	0.21 ha	ha	P	
17	利用者	水稲	0.21 ha	ha	水稲	0.23 ha	ha	Q	
18	利用者	飼料、繁殖牛	0.19 ha	ha	飼料、繁殖牛	1.21 ha	ha	R	
19	利用者	水稲	0.14 ha	ha	水稲	0.14 ha	ha	S	
20	認農	甘藷、水稲	0.29 ha	ha	甘藷、水稲	0.33 ha	ha	T	
21	利用者	飼料	0.40 ha	ha	飼料	0.40 ha	ha	U	
22	認農	施設金柑	0.11 ha	ha	施設金柑	0.11 ha	ha	V	
23	利用者	水稲	0.20 ha	ha	水稲	0.20 ha	ha	W	
24	認農	野菜種苗	0.23 ha	ha	野菜種苗	0.38 ha	ha	X	
25	認農	飼料	0.18 ha	ha	飼料	0.18 ha	ha	Y	
26	利用者	ズッキーニ、ニンニク、甘藷	0.00 ha	ha	ズッキーニ、ニンニク、甘藷	7.00 ha	ha	Z	
			6.85 ha	0.00 ha		14.99 ha	0.00 ha		

地域計画(大束原地区:矢床・家畜市場・大束小周辺)



凡例	
農業上の利用が行われる区域	
大束小学校	
南那珂家畜市場	

地域計画

策定年月日	令和 年 月 日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	串間市 45207
地域名 (地域内農業集落名)	大東原地区(矢床・家畜市場・大東小周辺) (矢床・揚原・市ノ瀬)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	64.30 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	46.98 ha
② 田の面積	0.00 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	64.30 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	5.51 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	12.30 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	24.29 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	18.69 ha
(備考)遊休農地面積0.00ha(うち1号遊休農地0.00ha、2号遊休農地0.00ha) ⑤は、地区内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>大東原地区(矢床・家畜市場・大東小周辺)は串間市中心部から北へ約5kmに位置し、畑において食用甘藷、ごぼう、茶、飼料作物等の作付が行われているが、鳥獣被害の増加、サツマイモ基腐病の被害拡大などが大きな問題となっている。また、担い手については認定農業者(34名)、認定新規就農者(1名)が確保できているが、10年後には担い手が減少することが懸念される。</p> <p>【地域の基礎的データ】 農業者:38人(うち50歳代以下18人)、組織経営体:3法人</p>

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>大東原地区(矢床・家畜市場・大東小周辺)には、地域組織がないことから、地域計画の策定を契機に地域組織の設立に向けて検討を行い、担い手への農地集積及び農地保全に取り組む。</p> <p>また、大東原地区(矢床・家畜市場・大東小周辺)では、高収益作物として食用甘藷、ごぼう等の作付けが行われているが、長引く「サツマイモ基腐病」の影響により食用甘藷の作付面積が減少している状況にある。その対応策として①持ち込まない(種芋の選別、苗床の消毒等)②増やさない(輪作、排水対策等)③残さない(収穫残渣の持ち出し等)を徹底し、優良産地として維持・発展を図るとともに、収益性の高い作物(特に土地利用型作物)について導入を検討していく。</p>

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理事業の活用による担い手への農地集積・集約を基本としつつ、担い手の農作業に支障のない範囲で多様な経営体へ農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	48 %	将来の目標とする集積率	90 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農用地の団地化(集約化)については、地域計画の実現に向けた話し合いにより、担い手への農地集積・集約を進め、団地面積の増加を目指す。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用し、認定農業者や集落営農法人等の担い手を中心に農地の集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地については、所有者の意向を踏まえた上で農地中間管理機構に貸し付けし、その農地を担い手に集積・集約していく。
(3) 基盤整備事業への取組
大東原地区(矢床・家畜市場・大東小周辺)については、スマート農業を効率的に進めるための農地の大区画化のほか、排水対策、農道整備が必要であることから、国・県補助事業の活用を検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地区内の多様な経営体が農業経営を展開できるよう、地区内耕作者がサポートを行う。(地域組織を設立した後はその組織が中心的な役割を担う)
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地区内担い手による作業受託(食用甘藷のドローン防除等)を進め、農作業の効率化等を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害防止対策については、電気柵の設置で被害防止を図るとともに、串間市猟友会との連携による駆除を進める。
- ③地区内でスマート農業に関する研修を行いながら、必要に応じて実践していく。
- ⑨農地の有効活用を図るため、農地の大区画化及び排水対策、農道整備を検討していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	41経営体		47.74 ha	0 ha		69.45 ha	0.00 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

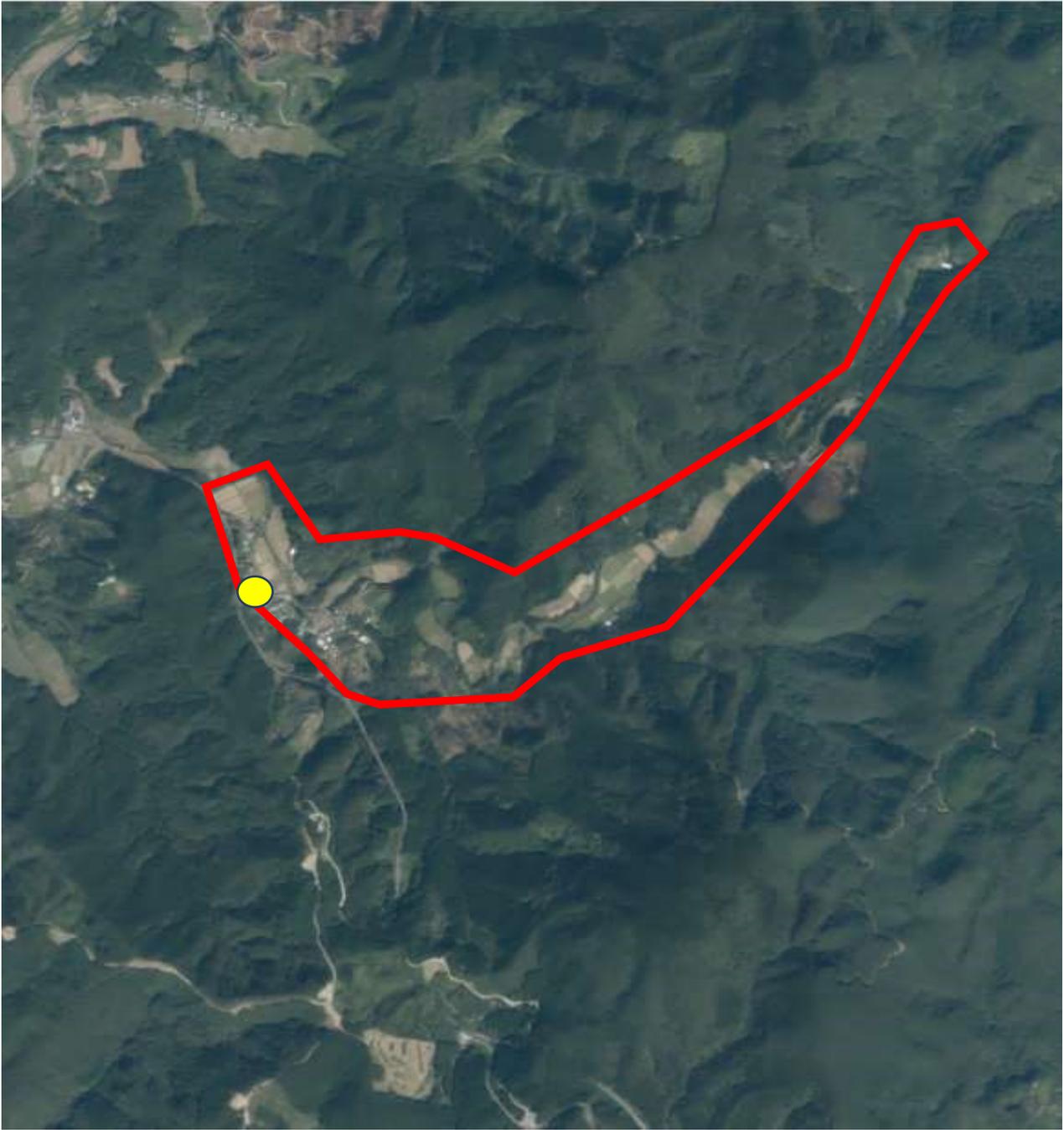
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農	飼料、繁殖牛	2.17 ha	ha	飼料、繁殖牛	4.64 ha	ha	A	
2	認農	甘藷	2.04 ha	ha	甘藷	2.59 ha	ha	B	
3	利用者	甘藷	1.96 ha	ha	甘藷	1.98 ha	ha	C	
4	認農	甘藷	1.56 ha	ha	甘藷	1.08 ha	ha	D	
5	認農	甘藷	0.76 ha	ha	甘藷	1.54 ha	ha	E	
6	認農	甘藷	1.89 ha	ha	甘藷	1.09 ha	ha	F	
7	認農	甘藷、飼料、繁殖牛	2.72 ha	ha	甘藷、飼料、繁殖牛	3.91 ha	ha	G	
8	認農	甘藷	1.54 ha	ha	甘藷	1.71 ha	ha	H	
9	認農	甘藷	1.09 ha	ha	甘藷	0.69 ha	ha	I	
10	認農	甘藷、果樹	0.54 ha	ha	—	0.00 ha	ha	J	
11	認農	甘藷	1.22 ha	ha	甘藷	1.37 ha	ha	K	
12	認就	飼料、繁殖牛	1.35 ha	ha	飼料、繁殖牛	2.66 ha	ha	L	
13	認農	飼料、繁殖牛	0.22 ha	ha	飼料、繁殖牛	1.64 ha	ha	M	
14	利用者	甘藷	0.59 ha	ha	甘藷	1.22 ha	ha	N	
15	認農	甘藷	0.44 ha	ha	甘藷	0.44 ha	ha	O	
16	認農	甘藷	0.14 ha	ha	甘藷	0.14 ha	ha	P	
17	認農	ごぼう	1.58 ha	ha	ごぼう	1.45 ha	ha	Q	
18	認農	甘藷	0.65 ha	ha	甘藷	0.65 ha	ha	R	
19	認農	甘藷	0.05 ha	ha	甘藷	0.05 ha	ha	S	
20	認農	飼料、乳用牛	0.16 ha	ha	飼料、乳用牛	8.07 ha	ha	T	
21	利用者	ぶどう	0.33 ha	ha	ぶどう	0.06 ha	ha	U	
22	利用者	甘藷	0.38 ha	ha	甘藷	0.38 ha	ha	V	
23	認農	甘藷	0.39 ha	ha	甘藷	0.39 ha	ha	X	
24	利用者	甘藷	0.24 ha	ha	甘藷	0.24 ha	ha	W	
25	認農	甘藷	0.36 ha	ha	—	0.00 ha	ha	Y	
26	認農	甘藷、飼料、繁殖牛	1.38 ha	ha	甘藷、飼料、繁殖牛	1.56 ha	ha	Z	
27	認農	飼料、繁殖牛	0.15 ha	ha	飼料、繁殖牛	0.15 ha	ha	AA	
28	認農	甘藷	0.13 ha	ha	甘藷	0.13 ha	ha	AB	
29	認農	甘藷	2.29 ha	ha	甘藷	5.00 ha	ha	AC	
30	認農	甘藷	2.43 ha	ha	甘藷	2.43 ha	ha	AD	
31	認農	飼料、繁殖牛	0.52 ha	ha	飼料、繁殖牛	4.39 ha	ha	AE	
32	認農	甘藷、栗	2.21 ha	ha	甘藷、栗	7.18 ha	ha	AF	
33	認農	飼料、繁殖牛	2.99 ha	ha	飼料、繁殖牛	2.99 ha	ha	AG	
34	利用者	甘藷、ごぼう	1.38 ha	ha	甘藷、ごぼう	2.38 ha	ha	AH	
35	認農	甘藷	0.60 ha	ha	甘藷	0.60 ha	ha	AI	
36	認農	茶	4.07 ha	ha	—	0.00 ha	ha	AJ	
37	認農	茶	3.12 ha	ha	茶	3.12 ha	ha	AK	
38	認農	茶	0.64 ha	ha	—	0.00 ha	ha	AL	
39	認農	茶	0.15 ha	ha	茶	0.15 ha	ha	AM	
40	認農	飼料、乳用牛	0.22 ha	ha	飼料、乳用牛	0.29 ha	ha	AN	
41	認農	飼料、繁殖牛	1.09 ha	ha	飼料、繁殖牛	1.09 ha	ha	AO	
			47.74 ha	0.00 ha		69.45 ha	0.00 ha		

地域計画(樋口地区)



凡例	
農業上の利用が行われる区域	
樋口公民館	

地域計画

策定年月日	令和 年 月 日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	串間市 45207
地域名 (地域内農業集落名)	樋口地区 (黒仁田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	14.40 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	14.40 ha
② 田の面積	14.28 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.11 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.66 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	12.69 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	11.40 ha
(備考)遊休農地面積0.00ha(うち1号遊休農地0.00ha、2号遊休農地0.00ha) ⑤は、地区内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

樋口地区は、串間市中心部から南東へ約5kmに位置し、水田において早期水稻、飼料作物の作付と繁殖牛の飼育が行われているが、鳥獣被害の増加が大きな問題となっている。また、担い手については認定農業者(4名)が確保できているが、10年後には担い手が減少することが懸念される。

【地域の基礎的データ】

農業者:10人(うち50歳代以下3人)、組織経営体:なし

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

樋口地区には、地域組織がないことから、地域計画の策定を契機に地域組織の設立に向けて検討を行い、担い手への農地集積及び農地保全に取り組む。

また、樋口地区は、水稻及び飼料作物の作付によって農地の有効利用が図られていることから、今後も引き続き、これらの作物の生産振興を図りながら産地維持を図っていく。また、新しい取組として収益性の高い作物(特に土地利用型作物)の導入を検討していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理事業の活用による担い手への農地集積・集約を基本としつつ、担い手の農作業に支障のない範囲で多様な経営体へ農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	12 %	将来の目標とする集積率	80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農用地の団地化(集約化)については、地域計画の実現に向けた話し合いにより、担い手への農地集積・集約を進め、団地面積の増加を目指す。(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用し、認定農業者等の担い手を中心に農地の集積・集約化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地については、所有者の意向を踏まえた上で農地中間管理機構に貸し付けし、その農地を担い手に集積・集約していく。
(3) 基盤整備事業への取組
樋口地区については、農地の大区画化のほか、排水対策、農道・水路の再整備が必要であることから、国・県補助事業の活用を検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
関係機関・団体と連携を図りつつ、地区内の多様な経営体が農業経営を展開できるよう、地区内担い手がサポートを行う。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地区内担い手による作業受託(水稲・飼料)を進め、農作業の効率化等を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害防止対策については、電気柵の設置で被害防止を図るとともに、串間市猟友会との連携による駆除を進める。
- ⑨農地の有効活用を図るため、農地の大区画化及び排水対策、農道整備を検討していく。

